## 目次

株主の皆様へ ―― 2
トピックス ―― 3
業績ハイライト／経営概況 ―― 5
モバイル事業 ―― 7
ネットワーク事業 ―― 9
プリペイド決済サービス事業他 ―― 10
財務諸表（要旨） ―― 11
株主様アンケート結果のご報告 ―― 12
会社情報 ―― 13

### 配当政策

業績の進展状況に応じて、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しながら、配当性向30％以上を目途として安定配当を継続

［平成22年3月期配当金］
1株当たり5,000円
（期初予想額）
↓
1株当たり6,000円
（1,000円増配）

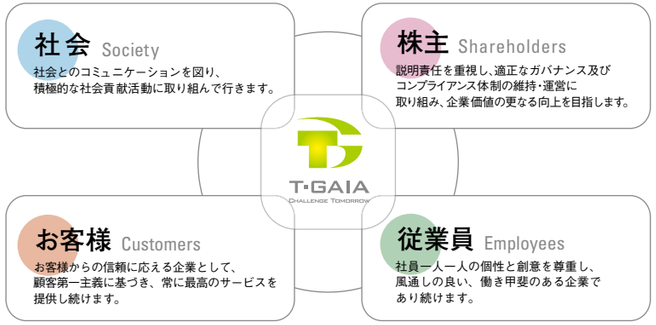
### 企業理念

**我々は、社会の夢と豊かさの実現に貢献し、**

Tomorrow 「明日」に向かって
Integrity 「誠実」に
Challenge 「挑戦」し続けます。

### 行動指針

**持続性と透明性の確保を目指し、
様々なステークホルダーを視野に入れつつ、
企業の社会的責任（CSR）を積極的に果たします。**








# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

6月24日より、代表取締役社長に就任致しました木村政昭です。

一昨年10月1日の経営統合から1年半以上経過し、組織やシステムの統合も順調に進み、ティーガイアとしての基盤固めは概ね完了致しました。

その結果、国内の消費低迷が依然として続く中ではありましたが、経営統合による規模の拡大や業務の効率化もあり、平成22年3月期の業績については、同第2四半期累計期間に上方修正した業績予想を上回り、おかげ様で11期連続の増収増益を実現することができました。

このティーガイアの強固な事業基盤を引き継ぎ、その更なる発展と成長を託され、その重責に身の引き締まる思いでおります。

当社の主な事業領域である携帯電話の販売市場を取り巻く環境としては、携帯電話の累積契約数が1億1千万台を超え、市場拡大ペースは年々鈍化しております。また、割賦販売方式の浸透等に伴う端末の買い替えサイクルの長期化により、携帯電話の販売環境はますます厳しくなってきております。

しかしながら、一方で、更なる高速データ通信を可能とする次世代のネットワークへの進化や、オープンOSを採用したスマートフォンマーケットが広がりを見せる等、携帯電話に係わる技術革新は継続しており、その他端末流通環境への影響を考えると、総務省によるSIMロック解除の動きもあり、今後当社を取り巻く環境は依然として目まぐるしく変化していくものと思われます。

それら変化のタイミングをとらえ、当社の成長のチャンスとしていくには、常にスピード感と柔軟な対応力が求められます。当社はM&Aを繰り返し成長してまいりました。異なる企業風土や文化を持つ複数の会社が合体し、お互いの持つ優れた部分を取り入れ、切磋琢磨を繰り返し、それを活力として着実に収益を伸ばしてきました。しかしながら、今後スピード感をもった対応をしていくには、更なる人心の融合や業務フローの効率化を進め、新生ティーガイアとしての企業文化を全社員が共有し、全員一丸となって変化にチャレンジしていく社内環境作りが必要となってくると考えております。

新たな経営体制の下で、持続的な成長を図れる体制作りを進め、既存事業はもとより、海外事業を含めた新たな事業領域にも積極的に取り組み、企業価値をさらに高めるべく、新社長として全力をつくす所存でございます。

今後とも株主の皆様には、変わらぬご指導、ご鞭撻の程を、何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員　木村政昭

**企業価値の最大化**

| 既存事業の拡大・強化による持続的成長 | 統合シナジー創出に向けた取り組み強化 | 海外事業・新規事業に積極的に投資しグローバル化を推進 |
|---|---|---|
| 営業力の更なる強化 | 業務効率化 | 海外事業・新規事業への積極的なチャレンジ |
| ［事業基盤の拡充］<br>［法人営業の推進］<br>［地域補完・販路の最適化］ | ［物流・在庫の一元化］<br>［開通センターの統合］<br>［人員の適正配置］ | ［海外市場調査や出資を実施］<br>［物流ビジネスの展開］<br>［MVNO等に係わる事業］ |

具体的な施策